

アルツハイマーの妻。
ガンを宣告された夫。
12年間の、壮絶な
愛の物語り――。



原作者：陽 信孝

県内先行ロードショー：
シネマサンシャイン下関
10/29(土)～

講演

しものせきプロボノ財団

映画「八重子のハミング」の原作者、陽信孝さんをお迎えし、
高齢者の問題、特に家族の認知症について、自らの体験のお話をさせていただきます。

2016年10月12日（水）

☆開場：9:30 ☆開演：10:00

ドリームシップ「下関市生涯学習プラザ」

2F 学習室1、2（下関市細江町3-3-1）

参加無料 定員70名（定員になり次第、締め切ります）
要予約



《お問い合わせ先》

一般財団法人しものせきプロボノ財団
担当事務：木村

〒750-0003下関市南部町20-20 1F
電話：083-227-2177
FAX：083-234-1411
Eメール：info@probono.or.jp

我々が目指す最終地点は、高齢者が住みやすい街にすること。そのために終活事業を通じて、
関門地域が永続的に発展するために、そして次世代が豊かになるように我々は行動します。
プロとしての誇りを胸に、社会福祉という安心をお届けします。

このたび、映画「八重子のハミング」の原作者、陽信孝さんを、「下関生涯学習プラザ」にお迎えし、我々高齢者の問題、特に家族の認知症について、自らの体験のお話をさせていただきます。

陽さんは、自らの壮絶な闘病生活も抱えながら、若年性認知症の奥様に12年間、寄り添い、介護をされました

それを、映画監督佐々部清さんが、映画化され、28年7月30日の試写会では、多くの方々が、一様に涙を流しながら、見ておられました。

映画を見られた方は、今度は、ぜひ、原作者の陽さんのお話を直接、聞いていただき、陽さんの介護の生活について、陽さんが感じられた、楽しみ、悲しみなど、身近に感じていただきたいと思います。

また、映画を見ておられない方々は、この**10月29日（土曜）からシネマサンシャイン下関で、県内先行ロードショーが始まります**ので、その前の、10月12日に、ぜひ、原作者の陽さんのお話を聞いて、映画を見ていただけると、より身近に、意義深く、映画を鑑賞できるのではないかと思います。

ぜひ、多くの方々に、聞いていただきたく、企画しましたので、皆様のご参加をお待ちしています。

なお、会場は、70席ですので、お早めに、お電話にて、参加のお申し込みのご予約をしていただきたく、お願い申し上げます。

しものせきプロボノ財団 代表理事 若松敏幸

〈お申し込み方法〉

以下の必要事項を記入の上、電話、FAX、メールにて申し込み下さい。

しものせきプロボノ財団 講演「八重子のハミング」	
氏名	
住所	〒
電話番号	



一般財団法人しものせきプロボノ財団 事務局
担当事務：木村
〒750-0003 下関市南部町20-20 1F
電話：083-227-2177
FAX：083-234-1411
Eメール：info@probono.or.jp